



花蓮から九份へ
 駆け足・台湾5日間⑤

地図でもわかるように、われぬほどの時間を取る。大理石で有名な花蓮は太平洋に面した港町である。2月6日、この近くが震源の地震で中国人観光客1人を含む17人が亡くなった。1カ月前、花蓮のホテルに泊まっただけに他人事とは思えない。人には運、不運があるものだ。

地震といえば、3・11東日本大震災の際、台湾から最も多くの支援金が寄せられた。今回の花蓮地震で日本からの支援が届けられたのだろうか。さて、中国や韓国、台湾などへの安いつアーでは日本からの添乗員はおらず、現地ガイド。そして現地ガイドは必ず免税ショップなどでの買い物に、観光とか



海底が隆起して出来た太魯閣峡谷
 のは、花蓮から少し北に行ったところにある「太魯閣(たらくかく)峡谷」。台湾を代表する景勝地で、山口県の長門峡を大型にしたような風景が見もの。写真には写っていないが、断崖の上にも細い道があり、神社のような

地でのこの種のもの疑って買ったことはないが、女性陣はタモリ効果もあつたか、多くの人が買う。私たちのツアーは22人だったが、妻を含めほとんどの女性が買い求めていた。

横目で見ながら計算すると、私たちのグループだけで100万円近く買った。血流をよくして健康に良いと店員は詳しく説明、楽天家の妻は「今度来たからお父さんのを買いますよ」。果たしてどれほどの効果があるのだろうか。帰国後、忘れずにつけている北投石のネックレスを疑いの目で観察している。さて次に訪れた



日本を思い起こさせる九份